

2004年3月23日

各位

会社名 ニチメン・日商岩井ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西村 英俊
(コード番号 2768 東証第1部・大証第1部)
問合せ先 広報室長 谷口 真一
(TEL. 03 - 5446 - 1061)

当社子会社(株式会社なか卯)の代表取締役の異動、
ならびに通期業績予想・期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社の子会社である株式会社なか卯は、本日開催の同社取締役会において、代表取締役の異動、ならびに2003年11月10日の中間決算発表時に公表した2004年3月期(2003年4月1日～2004年3月31日)の業績予想および期末配当予想の修正について決議を行い、添付のとおり発表いたしましたので、お知らせいたします。

なお、同社業績予想の修正による当社の2004年3月期連結業績予想の変更はありません。

(添付)

株式会社なか卯の開示資料

以上

平成 16 年 3 月 23 日

各 位

会社名 株式会社なか卯
 代表者名 取締役社長
 (代表取締役) 北野 安夫
 (登録銘柄・コード 7627)
 問合せ先 取締役
 経営企画室長 橋本 義雄
 (TEL: 06-4807-7303)

代表取締役の異動について

平成 16 年 3 月 23 日開催の当社取締役会決議において下記のとおり代表取締役の異動が内定いたしましたのでお知らせいたします。

なお、就任は平成 16 年 6 月開催予定の第 35 回定時株主総会後の取締役会において正式に決議される予定です。

記

| 新役職名 | 氏名 (ふりがな) | 旧役職名 |
|----------------|-----------------|----------------|
| 代表取締役 取締役社長 | すみたまさのり 住田正則 | (新任) |
| 取締役会長 | きたのやすお 北野安夫 | 代表取締役 取締役社長 |

1. 異動の理由

経営体制の見直しにより、組織の活性化を図り、一層の経営革新を推進できる体制にするため。

2. 新代表取締役の略歴

| 氏名および生年月日 | 略歴 |
|--------------------|--|
| 住田正則 昭和23年6月4日生 | 昭和47年 4月 日綿實業株式会社 (現ニチメン株式会社) 入社 平成 6年 7月 同社 農産品部長 平成11年 4月 ニチメン食料株式会社 専務取締役 平成12年 4月 ニチメンフーズ株式会社 代表取締役社長 平成14年 4月 ニチメン株式会社 執行役員 食料カンパニー長 平成15年 4月 同社 執行役員 人事・総務部長 (現任) |

なお、平成 16 年 3 月 31 日付にてニチメン株式会社執行役員を退任し、平成 16 年 4 月 1 日付をもって当社顧問に就任する予定です。

以 上

平成 16 年 3 月 23 日

各 位

会社名 株式会社なか卯
 代表者名 取締役社長
 (代表取締役) 北野 安夫
 (登録銘柄・コード 7627)
 問合せ先 取締役
 経営企画室長 橋本 義雄
 (TEL: 06-4807-7303)

平成 16 年 3 月期業績予想および期末配当予想の修正について

平成 15 年 11 月 10 日付当社「平成 16 年 3 月期中間決算短信(非連結)」において発表いたしました平成 16 年 3 月期(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)の業績予想および期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 通期業績予想の修正等 (平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 期末配当金 |
|-------------|--------|-------|-------|----------------|
| 前回予想 (A) | 18,500 | 600 | 250 | 7円50銭 |
| 今回修正 (B) | 17,420 | 10 | 270 | 0円00銭 |
| 増減額 (B - A) | 1,080 | 590 | 520 | 7円50銭 |
| 増減率 | 5.8% | 98.3% | - | - |

2. 修正の理由

当期は、昨年 5 月に発生したカナダでの B S E 問題による牛肉価格高騰および冷夏による米価格高騰の影響が 12 月以降顕著なものとなり、原価率を大幅に押し上げたことが利益を圧迫いたしました。さらに、12 月末、米国での B S E 発生に伴う米国産牛肉輸入停止措置により、2 月以降、主力商品の一つである牛丼の販売休止を余儀なくされ、新商品の即時投入による売上高の確保に努めましたが、客数において前年対比 10% 以上の低下となり、経常利益、当期純利益とも前回予想を大幅に下回り、結果、売上高は、17,420 百万円、経常利益は、10 百万円となる見込みです。

当期純利益は、来期以降も売上の回復を見込みがたい赤字直営店 9 店舗の閉鎖に伴う特別損失が発生することもあり、270 百万円となる見込みです。

これに伴い、当初 1 株当たりの期末配当金を 7 円 50 銭(年間配当金を 15 円 00 銭)と発表いたしておりましたが、今回は配当を見送らせていただき年間配当金 7 円 50 銭(中間配当として実施済み)とさせていただきます。

3. ご参考

(1) 前期実績

(単位：百万円)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 年間配当金 |
|----------|--------|------|-------|----------------|
| 平成15年3月期 | 15,492 | 430 | 87 | 12円00銭 |

うち中間配当金は5円00銭です。

(2) 来期対策について

本日「代表取締役の異動について」にて別途情報開示しておりますとおり、経営体制の見直しにより、組織の活性化を図り、一層の経営革新をできる体制を構築してまいります。

また、変化する顧客ニーズや外部環境に迅速に対応できるよう商品開発のスピードを高め、価値ある商品を季節ごとに積極的に投入してまいります。

このほか、販売管理費を徹底的に見直すなど効率経営を追求し、収益性の向上を目指します。

以上